



から こんにちは 今月の 気になる人



四万十地区より

新人ですが頑張ります！

いまはし かつのぶ
今橋 克暢さん(22)

新規就農者である今橋さん。担い手育成センター、農業指導士の元での1年間の研修を経て、試行錯誤を繰り返しながら15アールでニラ栽培に取り組んでいます。まだまだ忙しく趣味の車やバイクのツーリングに行けてないそうで、栽培と趣味の両立が目標とのこと。ご活躍を応援しています！



大野見地区より

いい年になるといね

あさ ひ な とし かず
朝比奈 利和さん(83)
はつ い
初意さん(83)

大野見 奈路にお住いの朝比奈さんは、ご夫婦揃って今年の干支の丑年生まれです。

結婚されて60年、たまに喧嘩しながらも仲良くお二人の子供さんを育てあげ、昨年はお孫さんが結婚されたそうです。初意さんは、お花を育てたり、畑仕事が好きだそうです。丑年生まれのお二人の抱負は、のんびり、ゆっくり、穏やかに、過ごして行きたいとのこと。

お二人ともお元気で、ず〜っと仲良くお過ごしください。



梶原地区より

新聞は欠かさず読みゆうよ

にし ぞえ とし のり
西添 利祝さん(89)

巡回中に会った梶原町宮野々の西添さん。なんと89歳にしてユズを栽培しているそうで、家庭菜園では大根や白菜などこの時期の野菜を育てて楽しんでのこと。もう一つ、新聞を読むことも毎日の大切な日課だそうです。寒い季節ですがますます元気で過ごしてくださいね！

ミョウガ栽培、勉強中です

きた おか やまと
北岡 大和さん(37)

「皆さんに良くしてもらい、就農することができました」と話す北岡さん。研修を積み、令和2年3月より興津地区でミョウガ農家として奮闘しています。もうすぐ1年を迎えることもあり忙しく過ごされていますが、今後は釣りもしてみたいとのこと。おいしいミョウガ栽培、応援しています！

興津地区より



この風景が続けばいいねえ

くろ かわ まさ かつ
黒川 正勝さん(90)

津野町宮谷でお茶約50アールと水稻21アールを栽培している黒川さん。宮谷地区で50年以上の間茶畑を守ってきた、90歳とは思えないとても元気でパワフルな方です。将来もこの美しい茶畑が続くことを強く願っており「若い人がやりたいと思うような農業になってほしい」と語ってくれました。

東津野地区より



5 四万十地域

ニーズに応える相談員を目指して



圃場での実地研修

11月19日、四万十地区の営農相談員研修が開かれ、職員16名が参加しました。組合員のニーズに応えられるよう栽培の知識や病害への対処方法について必要な基礎知識を身に付けることを目的としており、月に1度の研修を続けています。この日は組合員のニラのハウスへ赴き、栽培の過程で困っていることや改善策などについて質疑応答を行いました。今後も研修を継続し、組合員に必要とされる職員を目指していきます。

6 津野山地域

より良い米ナス栽培に向けて



栽培技術の向上を目指します

11月28日、津野山ナス部会は米ナス生産者を対象に栽培技術向上に向けた検討会を開催しました。令和2年度の栽培期間中に収集した生育データや管理記録を基に、よりよい栽培管理の検討、栽培技術に磨きをかけていきます。また篤農家の栽培技術を部会員に周知、共有することで、次年度には更なる収量向上を目指していきます。米ナスのみならず各品目において、更なる技術向上、収量アップに向けて取り組んでいきます。

3 四万十地域

ピーマン目慣らし会を開催



色あいや形の確認をしました

11月26日、興津集出荷場で冬春ピーマンの目慣らし会が行われ、7名の農家が参加しました。興津地区では甘みのある「京鈴」などの品種がハウス栽培されており、全国へ向けて出荷されています。出荷の際には規格サイズやキズの有無が重要になるため、参加者は実際に生産品を手にとってチェックしたほか、色あいや実の曲がりがないかなどを見比べて確認を行いました。品質を維持して出荷できるよう定期的に目慣らし会を行っています。

4 津野山地域

ユズの受け入れが終了



キャリーにユズがぎっしりと入っています！

津野山営農経済センターでは、10月末からユズの出荷受け入れ作業を行いました。今年は着果数がとても多く、平年だと120t程度のところ総受け入れ量が約190tに上り忙しくも活気ある受け入れとなりました。津野山地域内では管理が行われず、たくさんさんの果実が収穫されないまま残っているユズ園を見かけます。今年から少しずつではありますが、そういったユズ園の収穫や圃場の管理などの作業委託にも実践しています。

Monthly Topics

できごとピックアップ

地区内のイベントや、地域農家の取り組みなどを紹介します！



間隔を取りつつも賑やかな手芸教室

1 四万十地域

コロナに負けるな！
女性部リフレッシュ講座

11月16日、四万十地区女性部は農協会館でリフレッシュ講座を開催しました。新型コロナウイルスの影響で様々な活動が中止となり、以前のような部会員の交流ができない中で、少しでも元氣をお届けできるようにと人数制限を設け、感染防止対策を徹底し企画されたものです。講師としてJA高知女性組織協議会の川井由紀会長を迎え、「コロナに負けるな JA女性組織活動のいま！ 今こそ食と農を守り伝え地域を輝かせよう！」と題し講演会が行われました。

講演では、コロナ禍でも工夫してイベントを開いたことや、助け合いながら地域で暮らしていくために仲間と協力することなど、女性部活動の実体験に参加者は真剣に聞き入っていました。

講座では手芸教室も合わせて開かれ、和柄のマルチケース作りに取り組みました。色とりどりのシートを張り付ける作業に参加者からは「一人じゃ作れなかったかも？」「皆で作ると楽しい！」と久しぶりの交流に笑顔が溢れていました。



生徒に語り掛ける高橋さん

2 津野山地域

若手農家の思いよ届け
中央小学校で出前授業

11月10日、津野町立中央小学校でコミュニティスクールが開校され、地域の農業についての授業が行われました。中央小学校では地域とのつながりを大切にした学習に力を入れており、全学年を通じて地域の人々と交流する総合学習に取り組んでいます。今回のコミュニティスクールでは、津野町で活躍する若手農家の高橋徹さん（31）が「農業に対する思い」を講演しました。高橋さんが津野山地域で農家を目指した理由や、ミョウガ栽培を始めたきっかけなどを聞いた児童からは、「農業をやって大変だと思う事」や「どんな時にやりがいを感じるか」などが質問されました。更にはワークシート形式で各班に分かれ、今後の津野山地域の農業の発展をテーマに意見交換を行い、「農産物のブランド化」や、「加工などに取り組んだ大人顔負けの提案が出された。地域での就農に関心を持ってもらえるよう、JAも取り組んでいきます。」

四万十地域より

生姜の土壌消毒について

《生姜栽培における土壌消毒の必要性》

生姜栽培においては、根茎腐敗病などの農家の経営を揺るがす危険な病害の発生が増えてきています。これらを防止するためには土壌消毒の実施が必要不可欠であり、土壌消毒剤を効果的に使用することが重要です。今回は、バスアミド微粒剤について紹介します。

【土壌消毒剤：バスアミド微粒剤の特徴】

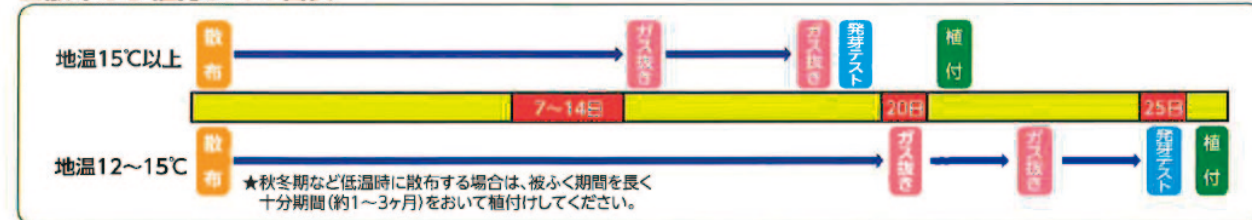
- ①刺激臭が少なく使いやすい ②粒剤なので散布が簡単
- ③広範囲の土壌病害・線虫類に効果があり、雑草処理にも有効

注意点

- 土壌の水分に反応して効果を発揮するため、処理時には土を握って塊が崩れない程度の水分状態がベスト
- ガス抜きには、10～14日と比較的長い期間が必要
- ※薬害回避の為に、被覆資材除去後に一定の降雨にあてることも有効

	対象	成分名	使用量	使用時期	使用回数	使用方法
バスアミド微粒剤	・根茎腐敗病 ・一年生雑草	ダゾメット	30～60kg/10a ※1年生雑草が対象の場合は20～30kg/10a	定植 21日前まで	1回	所定量を均一に散布して土壌と混和する

■散布から植付までの目安



■散布から植付までの作業手順

1 土壌水分の調整と整地

- 植物の残さ等を取り除いてください。
- 種土はよい状態にしてください。
- 土壌が乾いている場合、予め散水して土壌水分を整えてください。

2 適切な土壌水分量

- 水分がないと分解しません。土を握って形が崩れない程度の土壌水分。

3 均一散布

- バスサンダー等の散布器具で均一に散布してください。
- ※吸収倍付防護マスク・ゴム手袋・長ズボン・長袖の作業衣・ゴム長靴等を着用してください。

4 ロータリーで混和

- 土壌混和は15～25cmの深さまで十分に混和してください。

5 散水

- 水分が不足すると分解が遅れて効果不足や薬害の原因にもなるため必要に応じて散水してください。

6 表土を被ふく

- ただちにビニール等で被ふくしてください。

地温による被ふく期間の目安

地温	被ふくの日数
25℃以上	7日～10日
20℃	10日～14日
15℃	14日～20日
10℃～15℃	20日～30日以上

7 ガス抜き（最低2回）

- 散布後ビニール除去後に第1回のガス抜きを行い、その2～3日後に再度行って、完全にガス抜きをしてください。

8 発芽テスト

- ガスが完全に抜けたかどうか、レタス、だいこん、カラシナ等のタネを用い発芽テストをしてください。

9 施肥・植付け

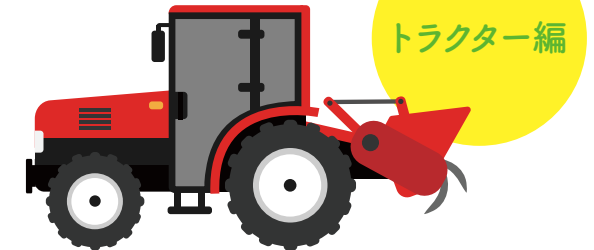
- 必ず無病の苗を用いてください。
- 堆肥は完熟堆肥を使用してください。

お問い合わせ先 四万十営農経済センター購買課
TEL.0880-22-5178 FAX.0880-22-5177



津野山地域より

農作業機械 使用の注意点



平成29年の統計によると、国内において農業機械作業に係る事故は211件発生し、そのうち乗用型トラクターによる事故は92件で、56人が命を落としています。（農林水産省調べ）

乗用型トラクターを走行中、圃場や道路から転落する事故が多くを占めており、慣れた作業であっても事故防止のための注意が必要です。

●道路走行時の左右ブレーキ連結

乗用トラクターのブレーキは、左右が分かれているため小回りが効き便利です。しかし、圃場からの出入りや、道路走行時に連結操作を忘れ、転落・転倒する事故が多く発生しています。

そこで作業中の以下のような場面では忘れずにブレーキ連結を確認しましょう。

- ①圃場へ出入りする ②移動走行する
- ③傾斜地で作業を行う ④畦を乗り越える



●シートベルトを着用しましょう

安全・キャブフレームのあるトラクターでもシートベルトを着用しなければ、転倒した際に身体が固定されないため、身を守ることができません。

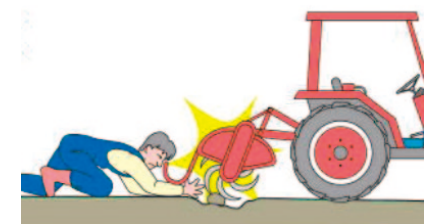


●作業機の下は危険

トラクター作業中にロータリーなどの作業機から異音があると、慌てて機械の中や下をのぞき込みたくなります。

これは非常に危険ですので、必ず安全な状態にして、点検整備を行いましょう。作業機を点検する際は必ず以下の対策を実施してから行ってください。

- ①作業機を上げます ②昇降部の油圧ロックを掛けます
- ③駐車ブレーキを掛けます ④エンジンをOFFにします
- ⑤ブロック等を作業機の下に入れて、支えにします



◎お問い合わせ先：津野山営農経済センター経済課
担当 井上（TEL.0889-62-2335）

皆さんからのご意見、ご感想、つぶやき、川柳、イラストなど、お便りを心待ちにしています！

みんなのひろば

俳句

霧の里句会

野路菊や「元気で生きよ」と今朝も咲く
熟柿食む姉弟の集ふ山の端

武政 礼子

落葉まふ託老に学友の顔
すぐれ虫亡母の傘にわが名前

市川 和美

電線にしばし談合去ぬ燕
昇天の友はいずこやちゅう虫

今橋 孝子

峡の道どんぐり避けて散歩かな
柿の実を鴉と分けて味わへり

田中 信子

夕暮れて散歩する道柿たわわ
大谷へ両手引かれて暮の秋

竹内 春猪

摘み取られ侘しくなりし葡萄園
空晴れて鉄子ヨキチヨキ柚子農家

津野 治美

久々の三味線の音色や秋深む
台風来逃る避難所量の香

西宮 正衛

立ち姿そのままに枯れ鶏頭花
丈低く地温確かむ冬の草

長谷部 延子

短歌

窪川短歌教室

つる伸ばしのうぜんかすが木犀にオレンジ色の花咲かせたり

岩井 房子

漢字パズル二冊仕上ぐさやかな達成感得る時をかさねて

黒岩 やよえ

木屋の咲きいる庭の草引けば小さな草にも種実りいて

岡村 香代子

十五夜の月眺めつつ思ふかな何があっても季節はめぐる

中内 佐登美

長月のとりとめもなき日常を家に残してコスモスの中

市川 隆子

夕焼けに淡く染まれる隅田川岸によりそうシルエット美し

島岡 紀美

落ちさうな涙のつぶを目に溜めてとなり家の孫高知へ帰る

市川 浩子

カルメンのドレスのごとき熱情を空に放ちて咲く彼岸花

文野 見枝子

この秋も無事に稲作終えし田に「おつかれさま」と独り言う

北村 さちこ

【各支所連絡先】

四万十支所(旧JA四万十本所)

0880-22-0003

梶原支所(旧JA津野山本所)

0889-65-0111

興津支所

0880-25-0002

東津野支所

0889-62-2211

大野見支所

0889-57-2321

葬祭会館 ルミエール四万十

0880-22-5900

(株)JAメモリアルこうち 津野山出張所

0889-40-1955

事故受付など 高西サービスセンター

0889-40-4141

俳句

今は生姜の収穫を手伝いに行っているので、終わってからになります
が、家の柚子を採るのが楽しみです。昨年の剪定のおかげかバラン
スよく実っているので収穫も楽しめそうです。

(四万十町・34歳・女性)

若者の戻らぬ家や落葉積む

(津野町・村田 三喜子)

人声の遠く去りゆく夕紅葉

(津野町・宇都宮 由利子)

冬の宵酒の香りが鼻を突く

(津野町・弘瀬 秀頼)

おたよりから